

市民活動センターだより



1月
平成29年
vol.10

問 合 せ

○ながはま市民活動センター
長浜市役所〈本庁3階〉
平日 8時30分～17時15分
〒526-8501 八幡東町632

○北部サテライトセンター
きのもと交遊館
水・日曜日 9時～21時
〒529-0425 木之本町木之本1118

☎ 65-6525
✉ katsudou@city.nagahama.lg.jp

市民活動に関する作業や打ち合わせなどにご利用ください！

TOPIC | 今月の情報コーナー

つくる・つなげる・つづける
セミナー第1弾好評終了

市民活動に関するあれこれを学ぶ機会としてセンターが主催する「つくる・つなげる・つづけるセミナー」の第1回目を12月に開催しました。

講師は「自分の力で活動の場をつくり維持する」ための支援を行うNPO法人れんげ舎（東京・町田市）の長田英史さん。市民活動を行う上で大切な、会員の増やし方や会議の進め方、団体としての雰囲気づくりなど「場づくり」をテーマに講義が展開されました。



▲長田さんの講義に熱心に耳を傾ける参加者

○講義ポイント1:会員の増やし方

商品を買うとき、試供品で良さを実感してから購入をするように、まずはイベントなどへの参加機会を

持ってから加入してもらう。いきなり「会員になってください」ではなく段階的な発信を工夫すること。

○講義ポイント2:会議の進め方

提案・質問・意見・修正・承認など、段階を踏んで進めることや、皆が発言できるよう司会を2人体制にすること、議事録の記述、会議を有意義なものにするために思っていることをしっかり発言すること。

参加したのは市民活動に取り組む人、始めてみたい人など20～70代の男女24人。市内で子ども食堂やマルシェの運営などに関わる村山さおりさん(千草町)は「会議のなかでは皆の意見が揃わないときもあります。あらかじめ合意形成する必要性を学んだほか、活動をしたい、続けたいという想いを持ち続けることが、大事だと改めて確認できました」と話していました。

セミナーは今後もさまざまなテーマで定期的開催していきます。

高校生プロジェクト始動！

いまどきの高校生は自分の住むまちのことをどれだけ知っているんだ

ろう。知らないまま進学や就職で市外に出て戻らないこともあるかもしれない。それってちょっともったいない……。

市内の高校生が改めて自分の住むまちを見直す機会をつくる「長浜高校生プロジェクト」が12月から始まりました。

今回取り上げるのは長浜の「人」。さまざまな経験を積み活躍する30～40代の住民にインタビューを行い、ブックレットにまとめる予定です。取り組むのは虎姫高校新聞サークルの8人。メンバーはあらかじめ自らが興味をもって選んだ飲食店主や農家、デザイナーなどの職場を巡ね、仕事や長浜についての思いを尋ねる予定です。今後も取組みを紹介していきます。



▲意気込み十分！虎姫高校新聞サークル部員と顧問の鈴木教諭(前列左)

こんな活動してます！

市に住む外国人の数はおよそ3,000人。うち約460人が中国の人で、結婚や留学、企業の実習などさまざまな目的をもち暮らしています。同協会は、こうした長浜に暮らす中国人どうしの交流はもちろん、国籍の分け隔てなくお互いに助け合えるようなまちづくりをめざして、昨年秋に発足しました。

現在メンバーは市内外の71人で、うち3分の1が中国人。毎月第2日曜日に行う「日中交流サロン」は、誰でも参加できる交流の場で、水餃子づくり講習などのイベントを行っています。また中国人留学生が講師を務める中国語会話教室も盛況で、今後定期的な開催を予定しています。

さらに市内で増えている中国人観光客に対しても、「翻訳受け入れの体制づくりを進めて、おもてなしに役立ちたい」とメンバーは意気込んでいます。

長浜市日中友好協会



【活動場所】主に市民交流センター
～随時会員募集中～

☎ 090-9916-3389
2月12日(日)に日本の小正月にあたる「元宵節(げんしやうせつまつい)祭」を開催。詳しくは本紙11ページをご覧ください。